

令和6年度事業報告書

1 会員異動状況

区 分		令和5年度末	令和 6 年 度		
		会員数	入会者数	退会者数	現在会員数
会員数	正会員 賛助会員	362名 8社	19名	13名	368名 8社

(1) 入会者 深澤 賢也 先生（石巻）、深澤 公美 先生（石巻）
 山本 響子 先生（仙南）、山本 早苗 先生（大崎）
 松田 聡子 先生（大崎）、岡田珠里亜 先生（仙北）
 推野 千紘 先生（仙北）、岩澤明香里 先生（仙北）
 中村 実優 先生（仙北）、赤井 次郎 先生（石巻）
 小林 朋生 先生（大崎）、望月 崇弘 先生（中央）
 丹生 早耶 先生（中央）、竹中 雅人 先生（中央）
 田中 芳樹 先生（中央）、名和 鴻斗 先生（中央）
 松野 千穂 先生（中央）、木内つぐみ 先生（中央）
 松木 信賢 先生（中央）

(2) 退会者 建入ゆかり 先生（仙南）、市川 京子 先生（大崎）
 田嶋 志帆 先生（中央）、工藤 莉奈 先生（中央）
 渡部 一星 先生（中央）、石坂 美樹、先生（中央）
 大口慶太郎 先生（中央）、矢崎 薫 先生（大崎）
 菊池 将平 先生（中央）、金田 善靖 先生（仙北）
 西條 怜央 先生（仙北）、加藤 博企 先生（仙南）

退会者には、次の物故者が含まれます。

南館 君夫 先生（1月4日 83歳）

2 会務の概要

(1) 獣医学術研鑽の推進

産業動物・小動物・畜産・家畜共済・公衆衛生等の学術研修会・講習会の開催及び獣医師生涯研修事業への会員参加を推進し、常に、専門集団としての学術研鑽に励み、組織力を高めることにより、質の高い獣医学を社会に還元することに努めた。

獣医学術の普及啓蒙・啓発、獣医師会活動の周知等を推進するため、年4回の会報を発刊し、会員に配布するほか、必要に応じ、最新情報を本会ホームページや公式LINEに掲示し、一般県民も閲覧出来るように努めた。また、関係機関・団体が開催する講習会や研修会に参加を推進し、会員へ情報提供した。

■ 講習会等開催状況

① 令和6年度畜産・家畜共済・公衆衛生講習会

(第69回宮城県家畜保健衛生業績発表会)

開催年月日 令和7年1月31日(金)

開催場所 宮城県庁舎1階 101会議室

出席状況 参加数 計48名(発表演題数:8題(1部4題、2部4題))

概要 「動物検疫所の概要」

講師 動物検疫所北海道・東北支所仙台空港出張所

仙台空港出張所長 横山 理恵子 氏

② 令和6年度産業動物臨床講習会

(日本獣医師会委託講習会:令和6年度管理獣医師の実践的な技術・知識を習得するための講習会)

開催年月日 令和6年12月6日(金)

開催場所 TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口

出席状況 参加数 計27名

概要 「遠隔診療からスマート農業への展開」

～哺乳ロボット、搾乳ロボットから得られるデータ～

講師 岩手大学農学部共同獣医学科 教授 一條 俊浩 氏

③ 令和6年度狂犬病予防注射指定獣医師事業推進研修会

開催年月日 令和7年2月9日(日)

開催場所 TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口

出席状況 参加数 計27名

概要 「ペット飼い主に向けての防災減災啓発について」

～災害後支援の経験と防災士の視点から～

講師 ペットライフサポートふう 板谷 智子 氏

④ 令和6年度小動物症例発表会

開催年月日 令和7年3月16日(日)

開催場所 仙台ECO動物海洋専門学校 第一校舎

出席状況 参加者数 計37名(宮城県獣19名、仙台市獣18名)

概要 症例発表会(発表演題12題)

(2) 公衆衛生・家畜衛生対策等の推進

ワンヘルスの実践として動物由来の人獣共通感染症予防推進を図った。特に、公益事業の大きな柱である、狂犬病予防推進事業を円滑に推進するため、事業実施主体である市町村と一層の連携強化を図り、狂犬病予防月間に広報活動を積極的に展開し、85名の狂犬病予防注射指定獣医師により45,601頭の予防注射を実施した。

さらに、薬剤耐性対策を推進するため、関係機関が小動物分野において行う調査に積極的に協力し、「高病原性鳥インフルエンザ」・「豚熱」・「牛伝染性リンパ腫」等の家畜伝染病に対する衛生対策についても関係機関との連携強化を基軸に推進し、情報発信を強化するなどして畜産振興を支援した。

(3) 動物愛護福祉事業の推進

市民参加型の「2024どうぶつフェスティバルin MIYAGI」を開催し、犬及び猫の長寿表彰を通じた動物愛護・福祉の普及啓発に努めた。また、各支部においても愛玩動物の飼い方講習会・犬のしつけ方教室等を開催した。さらに、学校飼育動物及び傷病野生鳥獣動物の支援を推進するため、相談窓口を設け、動物愛護思想の普及啓発に努めた。また、傷病野生鳥獣相談などを通じた鳥獣保護思想の普及啓発を実施した。

動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年法律第105号）の趣旨に基づき、無秩序な繁殖に起因する生活環境に対する支障を未然に防止し、動物愛護管理推進事業（飼い主のいない猫の不妊去勢事業）を実施するため、宮城県の助成を受けながら、1,187頭の施術を実施した。さらに、県で実施する可能な限り犬猫の殺処分ゼロを目指すための動物愛護推進事業（ミルクボランティア制度）の推進に協力した。また、義務化された販売される愛玩動物（犬猫）へのマイクロチップ装着について、ホームページなどを通じて県民へ広く情報提供し本制度の普及に努めた。また、自然災害時には、所有者不明又は負傷愛玩動物が多数生じ、避難所においても動物同伴者への対処方法等様々な課題が発生することから、被災動物の保護や飼い主の支援等に関係し各支部等に於いて、同行避難訓練などを実施した。

①相談実績状況

(学校飼育動物相談獣医師 (55 名)・野生鳥獣相談獣医師 (38 名))

(令和6年度累計 19件)

	診 療 動 物	件 数
学校飼育動物 相談 (2件)	動物愛護・飼い方・病気の予防	2(中学校)
野生鳥獣 相 談 (17件)	タ ヌ キ	1
	ハ ク ビ シ ン	1
	ハ ト	5
	ス ズ メ	2
	タ カ	1
	ハ ヤ ブ サ	1
	そ の 他	6

(4) 食鳥検査事業の推進

近年の消費者の低価格志向・健康志向の高まり等により、鶏肉の消費が堅調であることから、生産量も消費に応じた推移を示している。しかしながら、食鳥肉の喫食を原因とする食中毒の発生は多く、人の健康被害防止が求められている。そのため、鶏の生産現場から食鳥肉の流通に移る際の食鳥検査について、令和4年度から本会が指定検査機関として関わり、病鶏を排除し食鳥肉の安全確保を推進した。さらに、食鳥検査に係る会議や研修会への参加により検査技術等の向上に努め、またその知見を関係者に還元した。

①食鳥検査実施状況

食鳥検査実施日数		248 日
食鳥検査員	常 勤	1 名
	臨時等	11 名
検査実施食鳥処理場		1 場（R6.6 月～涌谷本格稼動）
検査羽数（ブロイラー種）		9,147,728 羽
全部廃棄		212,598 羽

②検査体制の充実

効率的な食鳥検査が行われるよう機器や資材の整備を進めるとともに、2 人制から 3 人制の検査体制に変更し、職員の負担軽減を図りながら検査体制の充実に努めた。

③検査員の検査技術・資質向上対策

研修会への職員の派遣や検査員を対象とした研修会を行うなど検査の向上並びに平準化に努めた。

- 1)全国食鳥指定検査機関協議会総会 6 月 6 日（木）
- 2)鶏肉の食中毒対策に係る情報交換会 7 月 29 日（月）
- 3)北日本養鶏研究大会（後援・協賛） 8 月 29 日（木）
- 4)全国食鳥指定検査機関情報連絡会議 10 月 24 日（木）
- 5)全国食鳥指定検査機関東北地区研修会 11 月 14 日（木）－15 日（金）
- 6)食肉及び食鳥肉衛生技術研修並びに研究発表会 1 月 23 日（木）
- 7)令和 6 年度食鳥検査員会議

本会会議室にて令和 6 年度検査事業の推進のため会議(12 回)と伝達講習(1 回)を開催した。

(5) 獣医師会相互交流の推進

会員相互の理解と協力のもと、公益社団法人日本獣医師会等の関係諸団体が実施する学術交流等の事業計画に参画し、公益目的事業の達成を図った。特に、例年開催されている東北獣医師会連合会事業への参加を推進し、令和6年度は、青森県獣医師会の主催で東北地区獣医師大会及び獣医学術東北地区学会が開催された。また、第42回日本獣医師会獣医学術年次大会が令和7年1月24日～26日の会期で仙台国際センターで開催され、本会から83名の参加があった。

● 令和6年度東北地区獣医師大会並びに獣医学術東北地区学会（青森県獣医師会主催）

①開催年月日 令和 6 年 9 月 24 日（火）-9 月 25 日（水）

②開催場所 青森県・ホテル青森

③出席状況

大会出席者 計247名

学会出席者 計322名

青森	56名	秋田	26名	山形	23名	福島	26名
仙台	12名	岩手	44名	宮城	25名	その他	110名

④大会概要

- 1)学会褒賞表彰 東北地区学会長賞 5題
 東北獣医師会連合会長賞 3題
 獣医学術東北地区学会奨励賞 3題（学会会場）

2)議 事

提出議案（日本獣医師会に対する要望）

「産業動物臨床獣医師確保の重要性について」（福島県獣医師会）

「愛玩動物看護師会の設立に向けて、最大限の支援と協力を」

（仙台市獣医師会）

提案採択

⑤学会概要

1)学 会

産業動物獣医学会 学会発表（22題）

小動物獣医学会 学会発表（29題）

獣医公衆衛生学会 学会発表（18題）

2)地区学会発表題数

県 名 学 会 名	青森県	秋田県	山形県	福島県	仙台市	岩手県	宮城県	計
産 業 動 物 獣 医 学 会	5	2	3	2	0	5	5	22
小 動 物 獣 医 学 会	8	3	2	3	2	8	3	29
獣 医 公 衆 衛 生 学 会	6	1	2	1	1	6	1	18
計	19	6	7	6	3	19	9	69

（6）組織活動の充実推進

各支部並びに各委員会の円滑な活動を推進した。

①支部総会実施日

	仙南	中央	石巻	大崎	栗原	仙北
総 会	5月15日(水)	6月12日(水)	5月19日(日)	4月26日(金)	6月12日(水)	5月23日(木)

②委員会関係

- 1) 産業動物臨床委員会 7月12日（金） 本会会館会議室（Web会議）

講習会の開催等について協議検討を行った。

（委員長：佐藤尚樹・副委員長：河野充彦・委員：渥美孝雄・吉田裕貴・齋藤正壽・高橋克仁）

- 2) 小動物臨床委員会 6月28日（金）、9月18日（水） 本会会館会議室（Web会議）

講習会開催、獣医学術東北地区学会、症例発表会について協議検討を行った。

（委員長：梶太郎・副委員長：伊藤博康・委員：山口喬・成田昌弘・羽根田亮・渡部祐・高橋祥子・菅原昭浩・大江通）

- 3) **畜産・家畜共済・公衆衛生委員会** 7月22日（月） 本会会館会議室
講習会の開催等について協議検討を行った。
（委員長：川名晶子・副委員長：平塚雅之・委員：西清志・早坂駿哉・
松田敬一・宮崎麻由）
- 4) **狂犬病予防委員会** 6月13日（木）、9月26日（木）、
11月28日（木）本会会館会議室（Web会議）
2月 9日（日）（同日事業推進会議）TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口
講習会の開催予定、注射料金、狂犬病予防事業の普及啓発、推進会議等につ
いて協議検討を行った。
（委員長：村上貴俊・副委員長：村木裕・委員：的場裕明・青田芳則・志賀康弘・
近藤哲也・佐藤浩喜・菅原真哉・藤村桂樹）
- 5) **動物愛護福祉委員会** 7月17日（水） 本会会館会議室（Web会議）、
事業計画、講習会の開催等について協議検討を行った。
（委員長：佐藤順子・副委員長：田中哲也・委員：日下智彰・畠山恵子・
福島泰・佐藤礼・佐竹寿弘・飯塚邦洋・井戸端利明）
- 6) **学術・広報委員会** 6月11日（火）、9月10日（火）、12月10日（火）、3月11日
（火）本会会館会議室（Web会議）
会報の内容及び計画、会報投稿規程の見直し、ホームページの内容、優秀論文の
推薦について検討を行った。
（委員長：安藤太・副委員長：森本素子・委員：真鍋智・工藤剛・及川伸代）

（7） 獣医事の対応推進

日本獣医師会・獣医師倫理綱領「獣医師の誓い－95年宣言」（1995年6月 第52回通常
総会採択）及び同・獣医師会活動方針「動物と人の健康は一つ.そして、それは地球の願
い（One World－ One Health）」（2010年6月 第67回通常総会採択）に基づき、獣医
師倫理の周知徹底と、飼い主とのインフォームドコンセントを推進した。

（8） 関係諸団体の連携強化

平成26年10月15日公益社団法人宮城県医師会との間に「学術協力の推進に関する協定
を締結し、両者は安全で安心な社会を構築するため、医療及び獣医療の進展に関する学
術情報を共有し、連携・協働するものとしているが、新型コロナウイルス感染禍の影響
により活動が停滞したままとなっている。

(9) 令和6年度定時社員総会受賞者

○ 獣医学術の研究発表の優秀研究者

高 橋 巧 (中央支部)

令和5年第76巻第2号(4月号)みやぎ獣医師

高 橋 春 美 (栗原支部)

令和5年度獣医学術東北地区学会 連合会長賞 (産業動物獣医学会)

○ 獣医業発展に貢献し、年齢が年度末において70歳に達した者

加 藤 博 企 (仙南支部)

高 橋 一 雄 (仙南支部)

佐 藤 尚 (中央支部)

西 川 彰 子 (中央支部)

渡 部 正 樹 (中央支部)

大 久 昇 悦 (石巻支部)

首 藤 正 (石巻支部)

沼 津 敬 治 (石巻支部)

阿 部 博 行 (大崎支部)

熊 谷 敏 信 (栗原支部)

佐 藤 俊 郎 (栗原支部)

大 江 通 (仙北支部)